



GX推進には、公正な移行が不可欠

自動車部品産業の現場の声を国に届ける

皆さん、ご安全に！村田享子です。「国会も後半に入り…」と報道されることが多いのですが、参議院での法案審議はまさにこれからです。自民党派閥の裏金問題のために窮屈な審議日程になっていますが、今後の質疑も全力で取り組みます！

1. 2024年度予算が成立

3月28日(木)の参議院本会議で、野党の反対を押し切って新年度予算が可決・成立しました。過去最大だった2023年度の当初予算より下回るものの、一般会計の総額は2年連続の110兆円超えとなります。

ポイント	村田の疑念
税収で不足する約35兆円分は、新規国債発行で賄う	日銀が異次元の金融緩和を終了したことで、この先国債利払い費が上昇する懸念あり。
子ども・子育て支援金に必要な財源は1兆円	政府は、賃上げや社会保障費の抑制で負担は生じないと答弁してきたが、実際は医療保険料と併せて1人あたり概ね500円/月が徴収される。また、健康保険組合など事業主も負担するので、被保険者1人あたりでは、1,000～1,400円/月程度の負担増に。手取り額の減少や今後の賃上げに影響する可能性もあり。
能登半島地震の復旧・復興のための予算になっている？	具体的な予算はなく、予備費に計上されているだけ。そもそも予備費は、予見しがたい予算の不足に充てるためのもの。補正予算でしっかりと対応すべきではないか。

4/24 EV化には公正な移行が必要

4月24日(水)の本会議に登壇し、『水素社会推進法案・CCS事業法案』に対し、会派を代表して質問しました。

質問項目	村田議員の質問	回答者	回答
サプライチェーン強靱化について	経済安全保障が重要になるなかで、自国産業の保護や有志国との <u>サプライチェーン強靱化</u> が進んでいる。この中で、どのようにGXを推進するのか。	経済産業大臣 齋藤	我が国が進めるGXは、エネルギーの安定供給を大前提に、温室効果ガスの排出削減に係る国際約束と産業競争力強化、経済成長を共に実現する取組である。 GX経済移行債による20兆円規模の投資支援策などにより、官民で150兆円超のGX投資を実現し、我が国が先行する革新的技術をアジアにも展開するなど、各国と協調して世界の脱炭素化にも貢献していく。
自動車産業における公正な移行について	<u>自動車産業で働く仲間から、エンジン部品を作っているが、EV化で仕事なくなるのではないかと不安の声</u> を聞いている。地域経済への影響もあり、GX推進にあたり <u>公正な移行</u> を後押しする具体策を教えて欲しい、		GX推進戦略において、公正な移行の推進を明確に位置付けており、世界がカーボンニュートラルに向けて進む中で、技術革新等も活用し、排出削減に対応した強い産業の創出、転換を進め、雇用の創出にもつなげていく。 あわせて、リスキリング等の人材育成の取組とGX分野を含む成長分野への円滑な労働移動を同時に進めるなど、公正な移行に必要な方策に取り組む。